

りーど通信 Vol.19



〒814-0153 福岡市城南区樋井川 4-1-11 2016年10月1日発行

ヘルパーステーションほっとほっと 092(866)1622 グループホームすてっぷ 092(834)3365
福岡市城南区知的障がい者相談支援センター 092(874)7907 短期入所者の家りーど 092(834)3368

障がいの重い人も地域で普通の暮らしを！

グループホーム「すてっぷ」で暮らしている K さんは最重度の重複障がいがあり、日常は車椅子が使われています。既往症として、てんかん・心臓肥大型心筋症・喘息・逆流性胃腸炎、皮膚疾患等があり、てんかんの専門病院の他に内科、整形外科、皮膚科、歯科と多方面の医療機関に定期的に通院されています。近隣の中核病院の週 1 回の訪問看護や訪問リハビリも活用されています。今後、K さんの加齢による廃用症候が進んでいく不安があります。また、K さんは、「重度障がい者等包括支援事業」を活用し、日中活動の生活介護やグループホームでの生活介助、帰省時のヘルパー利用など包括的な複数のサービスを受けています。

K さんのように、障がいの重い方々の地域生活には、多様な社会資源の活用が必要ですが、そのためには、相談支援専門員やサービス提供責任者等による専門的なサービス調整機能が発揮される必要があります。今後、ご本人の加齢とともに医療との連携が益々重要になってきます。



K さんのご両親は 80 歳を超えておられます。親亡き後も障がいのある方々が、グループホームを利用しながら安心して「地域での普通の暮らし」ができるよう、地域生活支援センター「りーど」の複合的機能を活用し、日々精一杯支援して行きたいと思っています。

グループホームすてっぷ 佐々木 篤

地震避難訓練を実施しました

7月29日にりーどの地震避難訓練をしました。今回は当日の避難行動の練習だけでなく、後日各事業所で色々な場面で地震が発生した場合にどのように対応するか等を話し合いました。

今後、災害時のマニュアル作りなどをすすめていきます。



りーど内各事業のご報告

◎ グループホームすてっぷ そうめん流し大会！

8月にそうめん流し大会を行いました！
みんなで話し合って準備をして、それぞれ係を決めて進行了ました。余興でお菓子を流して菓子つかみゲームをして、大いに盛りあがりました。



◎ パテシェ気分で…



すてっぷの休日の余暇支援でホットケーキ作りをしました。
ミカンや桃のトッピングでプロ級の出来栄えに！みんなでおいしくいただきました！

◎ ショートステイでレクリエーションの取り組みをはじめました！

夏らしく、みんなでかき氷・フルーチェ作りをしました！
他にも音楽レクリエーションや創作活動も始め、利用者の皆さんが楽しめる取り組みをすすめています。
Facebookにも活動の様子をアップしています♪
一緒に活動して下さるボランティアさんを大募集です！



熊本地震の被災地支援の報告

4月の地震発生から6カ月が経とうとしています。その間、相談支援センターから、4月23、24日、5月15～18日、6月26日～7月2日、8月28日～9月3日の4期間、JDFの被災地支援要員として5名が現地に赴きました。

当初は、復旧支援に加えて、現地の相談支援機関と連携して障がい者手帳を持ちながら、福祉サービスにつながない人たちを個別訪問し、困りごとや不安等を聴き取り、必要な支援につなげていくことを中心に支援しました。避難所に居られずに車中泊や倒壊寸前の自宅に住む人もおり、被災者の生活の大変さを目の当たりにしました。



益城町総合体育館

8月は益城町総合体育館（避難所）の避難者の中で、今後の生活に課題がある人たちの支援体制について、現地の行政、医療、福祉との確認・調整作業が中心になりました。もはや障がい福祉という枠を超えた支援が必要であり、災害などの緊急時に私たち支援者が本当に何が出来るのか、考えさせられる機会になりました。